



本草記聞

齒石類 二十種

同 下四十種

石類 上三十二種

玉類 一十四種

金類 二十八種



服部文庫
117
399
1



117
399
1

本冊記聞卷之二目錄

金石之一類二十八種

金 銀 錫 怡脂 銀膏 硃砂銀

赤銅 自然銅 銅礬石 銅青 鉛

鉛霜 粉錫 鉛丹 密陀僧 錫

古鏡 古文錢 銅弩牙 諸銅器 鐵

錮鐵 鐵落 鐵精 鐵平粉 鐵鋪

鐵燕 鐵漿 諸鐵器

石之二類一十四種

玉 白 髓 青玉 青琅玕 珊瑚



馬腦 寶石 玻璃 水精 琉璃

雲母 白石英 紫石英 菩薩石

石之三 石類上三十二種

丹砂 水銀 水銀粉 粉霜 銀朱

灵砂 雄黃 雌黃 石膏 理石

長石 方解石 滑石 不灰木

五色石脂 托老石 炉甘石 井泉石

無名異 蜜菓子 石鍾乳 孔公孽 殷孽

土殷孽 石腦 石髓 石腦油 石炭

石麩 浮石 石芝

石之四 石類下四十種

陽起石 慈石 玄石 代赭石 禹余糧

大乙余糧 石中黃子 空青

曾青 綠青 扁青 白青 石膽

砆石 特生砆石 握雪砆石

砆石 土黃 金星石 婆沙石 礞石

皂乳石 白羊石 金牙石 金剛石 砆石

越砆石 薑石 麥飯石 水中白石

河砂 拍上砂 石燕 石蟹 石蛇

石蠶 石鼈 蛇黃 霹靂礪 雷墨



專ラ佐州ヨリ出ル之山ノ富ノ間ニ出ルロアリ又
 流水ノスナニ交リテ出ルモアリ富石中ニアルハ山ヲ
 極^掘リウカチテ取ル之形チ至テ大ナルヲ馬蹄金ト云
 フ次キニ中小ナルモノヲ撒攪金又帶勝金ト云又極ノ
 テ細小ナルモノヲ瓜子金ト云フ流水ノ砂ノ中ニ生
 スルハ砂金ト云フ此レハ豫州佐州ニアリツヨク流ル
 水ノソコニアルヲ取ラ云フ之此ノ中ニ至テ大ナルモノヲ
 頭金ト云フ得シ此ノ如クナルハ本邦ニハ出ラズ小ナ
 ルモノヲ麩麥金^{オカサ}金糠金ナト云細小ナルモノ之總
 体山ヨリ掘出スモ河ヨリ取り出スモ生金ニナ毒

○銀

氣アルモノ之此ヲ取り煉リ熟シ磨メ何ベシモワカメ
 熟金ト云フ茶用ニス又金箔杯ニシタルヲ茶ニスル佳
 シ本條一名黃物^{事物} 按^同彈 庚辛^{石茶} 東南陽^{亦雅}
 日^同 男石上火^同 阿羅^{東西洋考〇是ハ} 女古^{禁抄録〇}
^{呂宋國ノ方言ニ} 是ニ突厥國
 ノ方
 言
 シロカ子スルウ^紅 本邦ニテ始テ出タルハ天武^天 天白^皇
 ノ御宇^{白鳳三年三月} 對^鳥ヨリ^全 献セリ^今 今ニテハ^經 揚州^始 岩見ヨリ多ク^テ 出タス山ヲ^深 深ク掘リテ金ト同シク取ル之土中ニ
 銀ノ筋ト云モノアリ石ニ絲ノヤウナル者アリソレニツ、
 キテ生スル之此ノ糸ヲ漢名竜口廣東一名銀苗^天ト云フ自然ニ銀ス
^{新語}

日本紀曰天武天皇
 時銀錢
 紀云日本
 船來銀

カリ塊ヲナスモノヲ銀單ト云集又絲ノ如クニナリテ

アリカ子ノ様ナルヲ石見ニテトテト云漢名老翁鬚

集又ハクイシト云モノアリ此レハ銀ノアラカ子ノ石ノ

中へ入テ生シタルニ此レヲ碎キ焼キ熟メ取ル熟

銀ト云フ又銅ト一ツニアルニ此レヲモワカメ取ルヤリ

熟銀ニ今用フルモノ皆熟銀之本條一名白鐵行厨

丹精同朱提同提晉時縣名也白貴事物民物廣祀白物事

各異白透同女石下水石茶西北墜月同

秋名塗屋音此ヲ説文ニ白金ト云ハ誤ニ塗ハ今ノツ

キノフニ詩ノ孔疏ニコレヲ辨ス通雅ニモ詳ニ

録附黄銀 知レス通雅ニ辰砂ヲ合セテコレヲ色ヲツ

クテ硃砂銀ニ似セタルナルヘシトアリ注未黄銅ハ今

メシンチウニ

錫悵脂 和産ナシ波斯國ノ銀ノアラカ子ニ蕃人ノ

持来ル錫悵脂レヤト云ハ世間ニ持テ居ル人アリ錫

ニテ造タルダイノヤウナル物ニ生メアルニ三寸程アリ

タイモハヘタモノモ同色ニ是ハ何トヤラ偽物ノヤウニ

疑ニ通雅悵作蘭

銀膏 是ハ注ノ通煉テ作ル者ニ白銀ノ子リ茶ト云

ヤウナ物ニ錫ト水銀ト合テ製ス集解見タリ舶来ナシ

硃砂銀 コシラ(モノ)ノ鉛ト硃砂ト等分ニ合セラ作

之仕方ハ天工開物ニアリ一名ナシ

赤銅 アカ子 日本ニテ赤銅ト云ハ銅ノ中へ金ヲ入

タラ赤銅ト云和名之此ノ漢名ハ紫金山ト云ク本條

文武天皇二年因幡周防ヨリ献シタリ元明天皇

和銅元年ニ武藏ヨリ献シタリ其故知銅ト年号

ヲ改今ハ諸國ヨリ出之此ニモ品類アリ赤銅ハカ

リ生スルアリ便時珍ノ一生銅之又鉛ト混メアルア

リ銀ト混スルモアリ三通アリ日本ノ銀ト混メアリ

唐テハ日本ノアカ子テ金ヲ取今ハ日本テモ取之時

珍ノ説ニ赤銅白銅青銅アリ赤銅ハ本條之白銅

青銅ハ皆自然ニ出来ル色ノ白青ナル之和産ナシ

又云以炉甘石鍊為黃銅ニテウ之日本テハ爐甘

石ノ替ニトタンヲ用テ黃銅ヲツクル之又云砒石鍊為

白銅コノ白銅ハ依^作リ物之前ノ白トハ別之又云錐

錫鍊為響銅此ハサハリノ下之今鈴錫杖ナトニ作ル

カ子ク一名蜀山居士 事物異名 黃鉄 名物 法言

自然銅 舶来アリ唐ヨリ来ハ丸キムカゴノヤウナ形之

一寸程アリ又小キモアリ重クメ外皮ニイボアリ色

赤黒至極堅キ物之割レハ内金色ニメ針ヲ多クハ

子夕ヤウナ東針紋アリ又外ニ四角ナモアリ四行程
アルモアリ此モ赤黒重シ茶店ニアリ此ハ二品共ニ
和産アリ四角ノハ信州武石村武石峠ニテリ言ヲオトメ石ト云カト石
氏云丸ハ秋田ノ銅山ニアリ秋田ニ品、ノ自然銅ア
リ針カ子ヲ東夕ヤウナ形ニメロクセウゼ付テアリ此ヲ
ナハテ自然銅ト云上品之集解ノ四行ノニ乱銅糸ノ
如シト云物之又生姜ノ形ノヤウニ大クカタマリタル
アリ色品、アリコレハ皆四角ノ方カ塊ヲナシタル之
此ヲ生姜ト云集解如姜鉄屎ト云是之又一種一
方程テ皆四方ニナリテ色、ノイロアリ是ヲキリメ石

キリコ砂方銀砂ト云以上皆和名此ハ諸國ニ生スル之ヲノ
集解ニ云今市人多以鉛石ト云是ノキリコ砂ニ能
似タリ鉛石ハ火ニ入テ硫黄ノニホヒアリ所ニナルハ
鉛石之小サキハ伊豆下総美濃ヨリ出ル大ナルハ伊
豆田方郡ニアリ大小ノ別アリ大ハ丸ク小ハ方之小
ナル方ノカタマリタルヲカナ石ト云本條一名金山カ
士藥譜金カ士事物異名散左里郷名
銅礦石ハクイシ赤金ヲ掘山ニハ皆此石アリ即チ
アカ、子ノアラ石之此石ヲ取テ湯ニカケ銅ヲ取ニ
ナ金色ノ光リアリ紫ヲ帯ノ上品トス銀多シ黄ナル

ヲ菜種^{ナメ}箔ト云銀少シ下品一名ナシ

銅青 ナラロクシヤウ 銅ノサヒニ此ハ銅ノ墨ニ酢ヲ

塗テ置ト青キサヒ生ス此ヲ取テ水^ヒメ^ヒ絵具屋ニ

テウルナラロク青ト云目菜ニ用ル此ノワセウナリ一名ナシ

鉛 ナマリ^毛ホロン^毛ヘイ^毛 本^毛唇ニ鉛作^毛鉛誤^毛之^毛鉛音終

説文ニ云^{鉛音終}美鐵也ト今本唇ニ字ヲアヤマルノミナラズ

秋名ニ金公^鉛字ヲニ字ヲカチテ鉛異名ト是時珍抱朴子誤ヲ受

タル本所ニアリ対馬出羽紀州越前伊豫ナトニ出ス

鉛ハカリ生スルヲ單生鉛ト云銀ヲ包ミ生スルヲ銀礪

鉛ト云金銀鉛^毛云銅ノ雜ヲ銅山鉛^毛又雜銅鉛^毛

密云一名連

^{通雅}黑鉛

^{磁石}本余八石ハ丹砂硫黃雄黃雌黃香礬石大餘糧

鉛霜 ナマリノ粉^毛ヲキ

^{修治}ニ取マウ^毛詳ニ鉛ヲ酢ノ

盆ノ上ニ置キ蓋ヲメ陰處ニ置ト白粉^毛ヲ是鉛霜

ニアタメテ取粉ハ次ノ條ノ白粉^毛之發明ニ神符白

雪ト云ハ本條ノ一名

粉錫

京ヲシロイ^毛カホコフシ^毛タウノツチ^抄和名是ハ如人

ノヲシロイ^毛之唐ノツチト云ニ二通アリ上品ノハオシロイ

下品ハイマリツチニヲシロイ^毛ラマセウル^毛之此ハ下品ノトウ

ノツチト云是ハヤクニタ^毛ス唐ニゴフント云ハ京ヲシロイ^毛

京テコフント云ハ蛤粉^毛之唐ノ胡椒トアル^毛ハ皆京ヲ

^{画家ニ用テラフナリ胡椒ニアラズ混スベカラズ}

シロイ^ク此本條ハ器ニ酢ヲ入テ鉛ヲ其上ニ置テ又
其ヲ罏ニ入マハリニ火ヲ置キ七日程ニナルト粉ヲク
一名白膏西陽祖朝粉天工物流丹白膏石紫鉛英
事物異名五卷直同塗坯同粉心同

鉛丹 今云丹之本ト丹ト一字各寸ハ辰砂之此ハ
黄ヲ帶ル故ニ黄丹ト云其レヲ誤テ今茶店ニ別ニ
黄丹ヲ作ル丹ノナマ焼ナル黄色ノ物ヲ云テ黄丹ト
スル之丹ハ塚ヲ焼之上品ヲ光明丹ト云鉛丹ト云ハ
鉛テスル故ニ云之本條一名桐丹三因方
密陀僧 シロカ子ノ子リソコ ロガスルゾコ 頃説ニ鉛

ト銀ト混シタルヲキ別ルニ灰吹ト云コヲスル鉛ハ
灰吹ノ下へ下ル銀ハ上ニ残ルニ母、スルト灰吹ノ
底ニ鉛ト銀トノカスカ底ノナリニ残ラ密陀僧ト
云金ヲフク処ニモアリ金密陀僧ト云之色黄銀密
陀僧ハ白色之蕃人多ク外科ノ薬用ニス云今医統
ニ金錫即密陀僧也金色ノ者トアリ是カ金密陀
僧之本中ニハ金密陀僧ヲ云ハス一名胡面淳干輕耕錄
灰坯本中密陀僧必読
錫スバ二種アリ山中ヨリ掘出アリ谷川ノ中ヨ
リ出ルアリ山ヨリ出ルヲ山錫ト云川ヨリ出ルヲ水

錫ト云山ヲ深ク掘スメ得ニ又山崩テ出ルアリ天
工開物ニ詳ニ見ヘタリ日本テ八日向豊後伊豫西
條ヨリ出ル之世上ニス、ノ器ヲ造ルニ皆鉛ヲマセル
シヤリト云テスハハカリニテ作ラ上品トスルニ甚堅実ナ
ル者ニ日本ニシロメト云アリ此ヲ白銅ト云ニ即ス、
之和ノ方各ニ白銅ト云ハシロメノ下之シロメハ鉛一介
ニス、キ兩マセテスルヲ上品トス又下品ハシロメハカリ
一名亮忽都罕事物異名 崑崙毘石茶亦雅 錫銅臨桂雜錄
古鏡ワルカ、ミ 唐ニ軒轅鏡ト云アリ丸ノ四方正
面ニシタル者之此ヲカケテ置ト狐狸屬ヲサゲ邦ヲ

避ル之考槃余事ニ出ツ一名金烟事物異名 寿光先生
同 垂里同 容成公 同 方諸 同 菱花名物法言此ハハツ花形ノ鏡ヲ云 校正
錫銅ハ銅ニス、ヲマシユル故ニ云鏡鼻ハ裏ノ取ツ手ニ
古文錢ナニ 日本ニテモ大抵五百年以上ヲ用ル良ニ時
珍ノ説ニ云テアリ 日本延喜通宝和銅開珍此等
五百年以前ノ錢之唐ノ古錢ハ二千年以上ノ者ア
リ大泉五十宝貨ノ錢皆甚古キ者之古錢ノ下ニシ
タル各泉志ト云アリ和刻アリ錢譜ニモ詳ニ錢譜
ハ説部ノ中ニアリ開元通宝ノ中日月星ノ有アリ
裏ニ國名ノ有モアリ唐朝ノセニ之一名阿堵物世説

泉布 事物名 金幣 同 銅幣 同 孔方 同 方兄 同 圜老 同

集山 名物 板兒 存雅 音鳧 廣事

銅弩牙 才ホユミツルカケ 弩ハ才ホユミ之銅テツルカケ

ヲスル之便チソレヲ取用ニ訓蒙図彙ニ図アリ考ヘシ

諸銅器。銅鈷鉚ハヒシ。銅秤錘ハ秤ノヲモリ。銅

匙柄 ハカ子ノ柄

鐵 子ノ和名鈔名カ子カ子歌 二種アリ土定鐵ト云テアラカ子ノハコ

リ秤ノ錘ノヤウニカタマリテ居ルアリ又砂鐵ト云テ

砂ノ如クニ成テ有アリ和産多シ皆此砂鉄之備後

備中真州仙臺伯州作州石州日向但馬出雲ヨ

矮リ出タス総体鐵ヲ掘ハ金銀ノ如ク深ク掘ヌメ山

中ニ滑ヲ掘テ水ヲ流ストヒタモノ砂ノヤウニ流レ

イテ水土ハ流レ鉄ハノコル之此ヲ取ツボヘ入テタラ

テイルト上ニ糟タマリ鉄ハ下リ留ル之糟ヲカナクソ

ト云又カラシツヨレ云フル 傍ニ穴ヲアケルト其

穴ヨリ流出ヲスクト云漢名生鉄ト云倍ニ此ヲナヘ

金ト云其ルツホテ一七日程火ヲクヤサヌカスヲ倍ニ

ケヲト云又ナマカ子ト云漢名熟鉄ナリ又十一日モヤカスヲ

漢名鋼鉄和名ハカ子奈條一名堅老 事物 臧木兒 臧

熟鉄一名水鉄 本 勞鉄 道 具ニシタルフルカ子之

本条
鑠
イタカ子

鋼鐵 八カ子 前條ニ云通り 熟鉄ヲ十一日程モヤカ

ノソノウヘヲキタタルニ播州上品伯州雲州石州

ナ下品ノ異名ナシ 鉄砂 センクス

鐵落 クロカ子ノトヒクス カナグズ 此ハ鍛冶鉄ヲ焼テ

盤ノ上ニタタクト外ヘヒタルカ子ノ時珍ノ説ノ終

鉄末浸醋云、此ハ早石摺ノ仕ヤウノ漢名逡巡

碑言今秘園ニ見ヘタリ一名鍛鉄屎 所方

鉄精 クロカ子ノホコリ 鍛冶ノカマトノ内ニトブホコリ

ノ異名ナシ附方ニ鉄渣ト云カ一名ノヤ 修ウチモノ

鉄華粉 クロカ子ノコフキ コシラヘヤウハ修治ニ詳ク鉄

厚粉ト云カ一名ノヤウナモノ

鐵鏽 クロカ子ノサビ 何ニテモカ子ノ鏽ト云字ハ銚

又銚 トモ音通

鉄蕪 音絶 テツノアセ ハモノ、ヤキ汁 一名ナシ

鐵漿 カ子 ヲハグロ 如人ノ齒ヲ染ルハ甚臭気アリ

此條ハ染物ニ用ルカ子ノ鉄ヲ水ヲ煮テ用ル一

名ナシ

諸鉄器 馬銜一名排沫 事物 扇汗 同嚼子 訓蒙

王轄一名車所也 只 郷業 馬銜一名金葉 正字 踏銜

用茶 須知 鉄銃一名烏銃 武備 要器 金銃 訓蒙 因会

石之二 玉類一十四種

玉多 日本モ昔ハ玉ヲカサリニ用今ハ玉産セス舶来ノ

玉アリ甚キシイノスキ通ラヌ馬腦ノ如シ淺黄色カ

多ク石ノ帶ナトニメ来ルニ水晶杯トハ大ニ異ニタ、

ケハカントナルノ一名竜輔事物異名 懸黎同 齒老温日孤

穩禁樹 山事林 廣記

白玉髓 クマノヤニ タマノアフラ 京テ云玉髓ハ昔馬

腦之馬腦モ流出ルモノ之皆石ヨリ流出ク京テ云玉

髓ハ雲州玉造ト云所ニ玉髓カタツ波ノヤウニナリテ

二三尺程ヲニ成テアルニチカコロ京ヘ沢山ニ来ク

青玉 アラダマ 和産是ニ似タルモノヲ能州海中ヨ

リ出スト云雞ノ卵ホトアリ又有馬ノ温泉ノ近辺

ニ此類ノモノヲ取ル云フニ

。附璧玉 丸キタマヲ璧ト云ニ 玉英カ、石ク

。合玉石 コンゴウ砂ニ倍コンゴウシヤウト云ウ合玉石

ハ河州 金剛山ヨリ出ニ讚州ヨリ出ハ其昔ニ河内土佐

ヨリモ出ルニ

青琅玕 アラサシゴジユ 此ハサシゴシユノ様ニ枝ヲ、シ

璃琉色ノ前ハ舶来アリト云今ハ中ナシタク昔日

琅玕ト云ヒイトロヲ土ニマフメ偽ト云フニ舶来ハタケ

宗廟珊瑚有紅油色者細縱文可愛

ハカシクト鳴ル近年馬腦ノ出ル山ニフキ出ル玉髓ト云アリ馬腦ノ枝ノ出来クル之此ヲ世上ニ琅玕ト云之先ツ琅玕ノ類之馬腦ニ青色ヲ帶テ居之一名青珊瑚物理青珠琅玕白碧珠石茶珊瑚サシニ和漢通名此ハ海底ノ石ニ生ス海底ニアルス柔ニメ水ヲ離テ風ヲタテ堅クナル之コウルウルシコウルウルフ紅日本ニ渡ル阿瑪港ト云アリ蕃國ノ名之ワレヨリ出ル之此ハ色浅ク紅黄ニメ登細キ紋アリ是カ上品ノ宗廟ノ説ノ物之廣東新語ニ紋細縦而色殷紅如銀珠而有光沢者为真又一種血玉ト云アリ只是ハ

赤キ計ニテ文理ナシ下品之是ハ舶来ナレ其偽物又魚ノ齒ヲ紅ノ汁ヲ染テ偽ル又鹿ノ角ヲ煎テ柔ニメ紅蒼汁ニ烏梅ヲ雜テ煮テ染ル之江州但州ニ和産ノ上品アリ是甚小之海辺へ打上ル首枝ノ末ノ折タル之ソレ方折テ上ル長サ五寸ハカリマハリ九分程アル之白珊瑚ト云テ白キアリ是ハ宗廟カ説生磐石上云、是之此ハ珊瑚ノサカキ之是ハ廣東新語ニ云白珊瑚之京ニ此ヲ採テ居人アリ江州ノ産之又ウミヒバト云アリ漢名石帆ト云此ニ色ノ赤アリ黄ナルアリ五色ナルアリ枝多メ葉ナクアミノ如シ其

内赤色ト黄色トハ節カ石ノ如ニ坐ク珊瑚ノナリ
 ナリテ居之此ヲ摺鉢ニ入レ水ヲ加フルト皮皆脱シ盡キ
 骨ガ残テ糟ハ粉ニナル此ヲ多ニスルト珊瑚ハカリ残ル是ヲ
 和テ珊瑚砂ト云之又海松ハ黒珊瑚ト云物理少識
 ニ出タリ又熊野珊瑚又流球珊瑚一名島珊瑚ト云各
 出所ヲ以テ名ク此ハ巨サ一寸程アリ折ヒロニ穴ア
 リト云テアル之是ヲ漢名海松ト云物理少識云一種
 海松全相似惟有針銀ト珊瑚ニ似タリト之本條一
 名赤珊瑚廣典烽火拍廣東新語烽火樹物理少識紅珊瑚銀海精
 馬腦和漢通名アカアトステイン紅毛是ハ舶来アリ品
精

・アル之馬腦ト云ハ馬ノ腦ニ筋カ似タ故ニ是ハ日本
 ニ沢山ナリ珍玩考ニ馬腦カ名ニナリタルヲ云ハ誤
 也津輕ニ甚多シ上品之雲州ノ玉造ニモ出ル之又雲
 州ニ碧色ノ者アリ甚稀之白赤黒ノ筋ノアルヲ纏緑
 馬腦ト云和名スジメノウウヅメノウト云時珍ノ流ニ柏
 枝馬腦ハ拍ノ枝ノヤウニ文理ノアルヲ云濃州養老
 ノ滝ノ近邊ニ出ル火打石アリ此ノ石ニ松木ノ葉ノヤウナ
 模様アリ此等カ拍枝ノ類之又夾胎云之是ハ白
 干馬腦ニ赤色ヲ含ミタルヲ云之又截子馬腦ト云ハ
 是字ノ通之一名内子馬腦典籍便覽拍枝馬腦ハ典

籍便覽ニ質如水晶上有枝葉儼如拍枝ト云又合
子馬腦是モ字ノ通りニ又錦紅馬腦言其本出景言三赤如
錦花又醬水馬腦景言其色如淡水花又景言ニ有
紫紅蒼点ハ津輕石ノ類ニ廣輿記作碼磁一名ナ

寶石 津輕シヤリノ類ニ真ノ寶石ハナシ是ヲ取ハ西
國ニアリ唐ニテハ嶺南ニアリ土中深く掘ル中ニアリ
名目甚多ニ典籍便覽ニ詳ニ見ヘタリ時珍ノ説ノ
猫睛石ヲトシホタマト云中ニ子ユノ眸子ノヤウナル光
アリ夫故ニ此ノ名アリ此モ一通阿蘭陀ノ持来ル

ヒイトロニテ拵ヘテ色ノ模様アリ長崎ニテモ出来
ルニシヤク石ト云ヲ紅毛人持来ニ寶石ノ一種ニテ
石榴子是ニ赤紅黒ニヒイトロニテモ作ニ真物スクナ
シ首飾物ニ用ルニ津輕ニ虫ノ巢ト云青玉アリ浅
キ色ニ津輕玉ト云海ニ生ス是モ偽物ニ真ノハ
所ニ黒ミアリテ其黒ニ引込テアリ海ニテサレテ虫カ
スムト云ニ故ニ名ツクスキ通ラ又者ニ真物甚稀ニ津
輕ニヤリト云テ赤小豆程ニテ色ハノ色アリ今別石
ト云海邊ニアリ海中ヨリ打上クルニ海中ニシヤリオ
ヤト云石アリ是ニ子カ生メ落ルニッレヲ波ニ打上ル

字彙ニ玻璃ニ作
以典籍便覽見
皮物亦玉ニ作ル

之寺方ニテ舍利ト云テ塔へ納テ置ク大方コノ物ニ

先是ハ寶石ノ類ニ真ノ寶石ニハアラス

玻璃 和摩十三 天竺 是ハ七宝ノ内ノ一ニメ天竺ノ宝ニ唐ニモナシ

皆ヒイトロミテ偽長寄へ来ル清濁モイトロラハウリヒ

ト云是玻璃ノ唐音ニ一名ナシ

水精 和漢通名 ミツトリ玉水ノ如ニメ至極透通

者ニ日本ニ多アルト唐ニモ云テアリ又奥ニ白石英ア

リ是ハ六角ノ水晶ト一物ニテ石英ハ石ノ花散六角

ニナルニ品、変シタルラ水晶ト云ニ一名銀晶 物理少識 又

赤色ノモノヲ火晶 日 スベテ天玉英ト云 事物異名

。附録 火珠 ヒトリダマ 日輪ノ火ヲ取玉ニ水晶ヲ

丸ク磨タルニ是ヲ日ニヨルト火カ取レルニ又薄ク

目鏡ノヤウニメ取ニ其内四ニスルト能トレルニ

。硬石 シレス

琉璃 和漢通名 此モ真物ハ稀ニ天竺七宝ノ一ツ

ニ唐ニテヒイトロミテ偽作ス琉又作瑠 品字義

雲母 キラ、畧ノキラヒ云唐紅毛ヨリ来ル共ニ上品ニ

薄ク大キク片ルヲ上品トス石ナレニ能片ル者ニアラ

ヒヤカラアス 蕃 日本ニモ諸國ヨリ沢山ニ出ス和銅六

年ニ大和河陸真ヨリ献タル 續 日本記ニ出ツ三

河ハ今ニ上品大和ハ今不出文和ノ椿尾ト云所ノ
山ニ昔シ雲母ヲ掘シ穴アリ石ハ白シ其内ノ石ニ二
寸ホトノ雲母アリ何レニモ白石ノ中ニ挟テ生スルモ
ト見ヘタリ今美濃ヨリ出上品ノ只今香ノ銀葉
杯ヲスルハ昔三河ナソノ雲母ヲ用ユ江州ノ田上
山ニ多出ツクロミアルモアリ茶色ヲ帯ルモアリ品ニ
其内白ヲ上品トス防州宮國ヨリ出ルハ色青シヨク
透通ク甚上品ノ日本モ此外諸國ヨリ出ルハ霞山
ニキラ、坂ト云アリ此ハモト雲母ノ出タル故ニ名ツク
今モ尋マルト稀ニアリ雲母ヲ正字通作雲母研異名

善ナシ

白石英 シロ水晶 ケシヤリケシヤリケシヤリ横州カサ
ブクロ佐山ノ神ノタガ子奥カブト水晶 是ハ水晶ノ
所ニテ言タル通りカタチ長ク六角ノサキモ六角ニテ
ケシノヤウニナリテアリトキ付ク如ク自然ニナルノ砂ヨ
リモ生ス總体ノ石ノ色ニ付テ生スルモ又砂中ニ
アリ先ノケシノ形ニナルモアリ稀ニ透通ヲ上品トス色
ハ色、アリ其内黒白紫ノ三色多シ又中空ニシ
中ニ水ノ有アリ泡カ注来スルニ何年モ水カカス
又其中ニ獸ノ毛ヤ鳥ノ羽ナトノ入テ有アリハ、一

尺位ニモナル又針水晶ト云テ至極細ク下タ立アカリ
テ生ス此レハ夕子カ別ト見ヘタリ又サメ水晶ト云テ
較ノ様ニナリテ長クナラス多生スルモアリ山城愛宕ニ生
ス此モ別ト見ユ又チ本水晶ト云アリ此針水晶
ノ大ナル者又黑白維ルモアリ又黑白紫ノ三色マ
レルモアリ此ハ稀ノ本條一名廣石郷茶

紫石英

ムラサキ
ドウノウジ下野

水晶 即石英ノ紫色ノ者ニ此モ

六角ケニサキ又兩頭箭鏃ノ如シト云モノ稀ノ和産決

白山ノ野州ニテハトウメニイシト云一名ナシ

菩薩石和産ナシ此ハトクト知レス先年亞媽港ノ人持来テ

人ヲ女ブラカシタルコアリ日ニ映メ光リアルユヘ人ヲ
タハカリタルニ能州ニ光濱ト云所アリ其所ニ東ニ
形ノ小石アリ透通リ少シ六角ノヤウニナリテアリ
茶色ニ此ヲ日ニ映スレハ光アリ此ヲ其所ニ舍利
ト云ニ是カ菩薩石ノ種類ニ唐ヨリモ渡ラス有無
知レヌ物又和名ニ菩薩石ト云ハ別ニ菩薩ノ形
ニ似タルヲ云ニ能州鳳至郡ニ菩薩岩ト云所アリ其
野ノ石ヲ破ト人ノ象アリ筒衣ヲキタ形又石ノ
中ヨリカレテ人ノ形ニ出テ有モアリ是ヲ和名菩
薩石ト云本條一名ナシ

石之三 石類上三十二種

丹砂 ニシニシヤ 和漢通名辰砂宜砂上品也辰宜
皆國名ニシニイヨ 毛 丹ト云カ辰砂ノ本名之唐テ一
字丹ト云日本ニテ丹ト云ハ漢名黃丹之辰砂ハ舶来
上品紅毛モ上品之併シ舶来新渡古渡アリ古渡ハ
上品之形一寸程ツ塊ヲナシ色赤黒光アリ又一分
程ツノ砂ノ 様ニカタマリタルヲ茄子ナスビト云上品
也色ノ赤ヲ貴フ故茶店テ朱ヲ塗テ色ヲツケル朱
ハ元辰砂ヲ燒テ水銀ニシ水銀ヲ又燒テ朱ニスル
故ニ毒アリ生ノ時ハ毒ナシ故ニ朱ヲ洗ヒ去テ用ヘ

ヘシ又新渡ノ辰砂ハ昔粉之雄黄カ多クマシル故ニ
水毛スルト雄黄カ浮之是ヲ去テ用ヘシ近年ハ和
産アリサレモ茶店へハ出テヌ大和ノ吉野川ニアリ
此ハ上品之又豊前中牟那ニアリ是ハ色黒赤ニ中
品之若水先生ノ時吟味アリシ之又茶店ニ朱砂ト
云テ賣アリ針辰砂ト云偽物之是水銀ヲ燒テ朱ニ
スル片朱ハ上ヘノホリ蓋ニツク下ニ糟カ溜ル針ヲ
束タル形ニナル此ヲ朱座ニ朱砂ト云茶店ニ針辰砂
ト云之必竟朱ノ糟之毒多シ用ヘカラス水銀ノ發明
宗説ニアル水銀燒成丹砂云、是之本條一名離

精本中 乾坤髓種杏 真丹附方 丹研 母粟通日

精石紫 真珠同 仙砂同 赤砂同 赤帝同 赤帝精同

赤帝髓同 太陽同 朱雀同 絳宮同 朱兒同

水銀ミツカ子 メリクリヤル各 アルカレトヘイス 水銀ハ

長寄大坂ニテ辰砂ヲ焼テ取ル集解ニ水銀ノ海ア

リト云怪説ノ物理少識云走馬吸水銀與走馬射

阿魏奇其説而已天工開物云凡水銀與朱更無

他出其瀕海草瀕之説無端狂妄而已又曰方畚

曰馬齒莧取中錫者妄言也水銀ハ首辰砂ヲ焼

テ取此仕様天工開物ニ見タリ舶來伊勢大坂ヨ

リ出ルミナ上品ノ一名黃瀕各物 流珠ル石ヲ賣

ル是ハ木化石ノ是ヲ竜骨ニモ偽リ不灰木ニモ偽

ル。集解萬年火把 百里タイマツト云テ唐ヨリ

渡長サ一尺ツクサシヤタシハ九カニ是ハ外カラ万年

昔ノヤウナ葉ニテ巻テ中へマツヤニノヤウナモノヲ入テ

アリ是ヲトモス一夜ニ一二寸ホトニテス古渡ノ新

渡ナシ育按ニ此品長寄ニ少ツク持渡ナリ予モ先年一二本

録附 松石 マツイシ 是ハ直ニ松ノ石ニ化タル日本

諸國ニアリ肥前松浦ニ多シ江戸本門寺ニ金体松

ノ首石ニ成タルアリ嵯峨大井川ニ松化石ト云アリ

然レ凡是ハ石ノ松木ニ似タル之又コエ松ノ石ニ化タ
ルアリ甚見事ニ又琥珀ノヤウニ黄赤色ニ透通ル之諸
木石ニ化スル中ニ玉ノ如キ物アル之一名松化石雲林

唐晉 王氏景苑庚子ハ川ノ名
譜 庚子石 コノ川へ木入ル乃子化メ石トナル之

五色石脂 石ノヤニ 土中ニアリ茶用ハ白赤ノ物ヲ用
赤石脂言渡新渡ノ數品アリ磨スレハ粉紅色ニメ
細小ナル之近頃渡ハ白色ヲ帶又砂アリ桃色ヲ上
品トス多ハ砂アル之和産佐渡ヨリ出ス上品ニ磨セス
メ光アリ方言ニ石サクト云品類多シ石麻モイシヤタ
ト云又馬勃令レイハク石杯ニモイシヤタノ名アリ京辺

爰宕杯ニ生ス茶店多醜醜ヨリ生スル物ヲ賣之白
石脂和産伊豆丈和吉野郡中品、アリ能ク滑石
ニ似タリ黄石脂紅毛ヨリ来ルホウリスアルメヤト云
外科ニ用和産長寄上品北山下品黒石脂唐渡
ナシ紅毛ヨリ来ル石筆ト云アリ能ク黒石脂ニ似
タリ黒色ノ石筆ヲホツトロソト云石筆和産ナシ黒
石脂山科牛尾山又嵐山天台山貴船ニアリ其外
所、ニ出ツ此ヲ砂ヲ去リ石筆ニメ昏クハアサギ色ニ
ナル今世上ノ石筆ハ硯石ノ粉ヲ蠟ニテ製スル之青
石脂ハ稻荷山和州鳳竜寺邊其外所、ニアリ赤

石脂一名紅心石事類黑石脂一名闕品字

本中必讀崇禎末年歲饑食中並食石々各現音
粉和麩蒸首不能大便墜而死者不可拳勝予
取來辨認其石如石脂而色青黑以指甲搥之脂
臍而舐之粘舌自青黑二種石脂也

桃老石 和名ナシ舶來赤石脂ノ中ニ錐リ來赤石

脂ハ粘舌桃老石ハ不粘必竟石脂ノ下品也

炉甘石 和漢通名舶來古渡上品アワ様ト云色白

メ柔泡ノ如ナルモノアリ泡様年脳甘一名白芦甘ト

云官邸便方ニ出シシク様扁固ニメ重キヲ云フ漢名

亜鉛

片子爐甘本中其外白上黃中青下ノ和産アリ未

夕茶店ニ出テス金銀ヲ沸ス所ノ灰吹筒ノ底ニアリ

此ヲスヤキノ壺ニ入テ燒ハ壺ノ形ニナル亜鉛ト云

漢名和鉛銅ニ亜鉛ヲ雜レハシニテウニ成天工開

物ニ詳ニ驗石今ノシニテウニ

井泉石 未詳

無名異 和漢通名 ラヒスカテシナリス紅唐ニ無名異

同名多シ錦繡中河上妣女品字神膠石茶玄水雅

同子明同玄珠同大明流珠同白布腦同天生同

水神水同音龍同鉛精同玄女同

水銀粉今ハ古訓ハラヤイセヲシロイハラシロヒ是ハ伊勢カ名物之故

ニ伊勢ヲシロイト云續日本紀ニ元明天皇和銅六年伊勢ヨリ

水銀粉ヲ敵シタルアリ今ニモ来ニ水銀粉水銀

無ラ燒カヘスニ唐テハ品ノ物ヲ入日本テハ土テ釜

井ヲ作り燒テ火ニ成タル釜ノ中へ水ト水銀トヲ入

レ直ニ蓋ヲスルニ其時音カツヨクスル暫ニ蓋ニハラ

ヤカ着ク水ト水銀ニテ燒度モスルニ此ハ甚易シ釜

ハ作りヤウアルニ一名水銀腊事物異名水粉茶性要器

粉霜ハラヤラ又燒カヘスニ輕粉ヲヤクト異ニ匠宗

粹言ニ審燒ヤウアリウスオシロイニ云ニメリクリヤ

ルドリ紅毛匠宗粹言曰升粉霜法用水銀二兩塩

一兩明礬一兩硝五錢共研一處以水銀不見星

為度用固濟確一箇装入煎茶確口吹錢燈蓋固

封密鐵線纏緊安百眼炉上先文後武煉三炷香

燈蓋注水冷定取下升在蓋上者扣下為粉霜墜

下者可以洗毒瘡傳腫毒一名金液石茶水水雲銀

金銀布同吳砂同汞金

銀朱今ノ朱ニ此ハミツカ子ヲ燒テスル故ニ銀朱ト云

辰砂ハ本毒ナシ燒テ水銀ニスルト毒アリ朱亦毒ナ

リ辰砂ノ代ニ朱ヲ用ルハ惡シ朱ハ唐カヨシ唐ヨリ

直ニ渡ハ悪シ琉球へ渡リ琉球ヨリ来ルヨシ日本
ニ朱座ト云アリテ外テ焼フナラス朱座ニ賣ル下品
口ウハヲ焼テアカクノマセルト見ヘタリ畚紅ト云コレヲマ
セル故色悪シ又黄色アリ朱ノ焼ヤウ天工開物ニ
精シ一名心紅本中 蒙筌
硃砂 拵ヤウ脩治委クス水銀トイアウニラ焼タルモノ
朱ノ焼ヤウト同シ焼加減ニテ出来ル朱座ニ水
銀呂ト云者ヲ賣此ハ辰砂ヲ水銀ヲ焼ケル糟ニ此
ヲ賣モノ多シ外ニテ知ヌ者故貴メ賣之前ノ水銀ノ
集解ニ天硫ト云ハ水銀呂ト云赤色ニテ登ニ東鍼

紋アリ此ハ水銀ヲ朱ニスル片ノ糟ニ朱ヲ焼ト辰
砂ヲ焼ト茶同シ本條一名ニ氣丹本中 蒙筌
雄黄内和漢通名 オアスウアウ品 和産ナシ唐渡バ
カリニ言渡ル 雞冠石ト云カ上品ニ此ハ人形様ト
云人形ノヤウニ方タマリタル者ニ臭気少ナシオシメシテ
見事ニ赤ヲ上品トス今渡ハ黄赤色臭気強シ下
品ニ兼黄ノ類ト見ヘタリ言渡ヲ扱ニ使ヘ本條
一名夜金輕耕 録 丹山物理 小識
雌黄通名今茶店ニテ石 雌黄ト云此ハ銓ノ具石トシワ
ウニ非ス石ニ銓具ニ用ルハ藤黄ト云テ蔓中類ニ見

藤黄

ニ海藤ト云モノ、脂之竹管ニ入テ塊タルモノ、此ニ

マカフ故ニ石雌黄ト云和ノ本中ニ金液ト書ヨリ

渡ニ品アリ正黄色ヲ上品トス硫黄ノヤウナル形黄

ニメ光アリ薄ク片ヲクテケル唐ヨリ渡ニ黑色雜ルア

リ下品ニ本條一名砒黄正字

石膏シライシ 古名今ハ通名 和名ナシ唐ヨリ渡ル上品ニ薄茶色ニメ登ニ

束針效多シ此ヲ粉ニスルト白シ和産モ越後石見

河内尾張ニアリ越後石見ハ上品河内尾張ハ下

品茶用ニスルハ唐計ニ一名白布本草 玉笋片鞍耕

ノ石周防ノ名物ニコルカウセルヒト紅毛 竜石膏

シレズ

附録 玉火石ヒウチ石 周防ノ火打石ト云テ浅キ色

ノ石周防ノ名物ニコルカウセルヒト紅毛 竜石膏

理石 和名ナシ石膏ノ一種石膏ノ中ニマシリテアリ

石膏ハ登ニ束針故アリキメアテクメニギカキガ石膏

キメコマカニメ長ク一二寸ツヅヒテ有テ理石ト云奥州南

部ノ方ニ沢山ニ此ハ理石ノ上品ノ伴豆河内ノ金

剛山ニアルハ皆下品ニ一名鳳石山東 通志

附録 白肌石詳テ本條ト同物

長石ホサウシ 和名ナシ今ハ渡ラス茶店ニモミヘス稀ニ持テ居

者アリ白クメ二三寸程ニ塊リ中程ニ空虛アリ柱
ヲ並タマウナ一寸程ツ、長キモリアリマトノ和
名シレス奥州ニ和産アリトイヘトハキト知レス茶店
ニ長石ト云テ賣ハ幅一二寸四方長一寸余ニ切リ
長石ト名ケ賣物之本條一名馬牙石十金乳石
同牛腦石 同奥州ヒサコ沢ニ長石アリト云

方解石

分播州

イ、ギリ

唐ヨリ渡ル白透通ヲ上

品トス茶色ニメ透通

ウラゲシ藝州アラレイ濃州

ラス四方ニ割レヌハ下品ニ茶店ニ

悞テ寒水石ト云唐ニモ此ノ悞アリ寒水石ハ塩ノニ

ガリノカタマリ凝水石ト云テ本條アリ和産加賀

伊勢備中出羽諸國ヨリ出透キ通上品ニ一名ナ

滑石通名

舶来

上品ニ和産品、アリ白滑石ヲ上品トス

原始ニ、色白光潤者良黄赤者劣本経逢原以色

青赤有毒ト云味甘ヲ上トス土ノ香ノアルヲ偽物ト

ス和産ニハ備前ノハ木山ニ出ル是ヲ燒テ山石ト云

ヲ即ニスルニ唐ノ滑石程ニ軟ニナシ然レ和産ノ土

品ニ河内ノ國分邨又志賀山石見ニモ出ツ伊豫

三ノ用寺ノ道ニアリ方言ニ又メリ温石ト云

種類ニ柔ニ淺紋石或ハ五色アリ又越中カラ出ハ軟力ニ

綴

柴不灰木ノ所
録松石以下五
色石脂蜜菓子
迄スヘテナラ
脱之他日善本ヲ
得テ謄寫メ補
入スヘシ

メ浅葱色也本條一名石仲寧録耕石液石茶脆

石同雷石同雷河督子同白玉粉医考活医考

硝石通利竅舟溪秘石較宛委石嗟同父冷茶

点アル之是ハ和産讚岐上野越中ニ出ル之又別ニ倘

後ノ石ヲク漢各石麻華夷ホウヘイシ紅

不灰木石ノ三種アリ石ノ灰木ハ古ノ舶来アリ先季舶来アリ近年渡ラス不焼木也日本

テ木化石ト云カ不焼木之諸木トニ皆化メ石ト成之

加賀越中ニ沢山之寒國ニ多化スト云木カ枝ナカラ

石ニ化スル之不灰木ハ木ノ石ニナルニテハナク木ノ形ニ

無名異

ナリタルヲ云之今茶店ニ白ク登ニ筋アル南京ヤキ

ハ絵具ヲ無名異ト云茶木膠ト云モノアリ此モ無

名異ト云物理少識ニ出ツ石州ノ金山ヨリ無名異

ヲ出ス是ハ中ヨリ紫粉ヲ掘ス出金瘡ニ用ニ本條

ニ当ルハ非之舶来上品ニ大ナルハ一分小ナルハ砂ヲ如

シ讚州ヨリムカエ石ヲ出ス割ハ中空ニシテ圓シ下

品々本條一名土子外科経驗良方

蜜菓子 未詳

石鍾乳イシノチ和名鈔ツラ、石イシノツラ、石イシノヨダレ 洞イシ生ス
大山ノ下ニハ皆風穴ト云テ洞穴アリ此ノ穴ニ生メ乳

ノヤウナ者カ流出テ、ツラ、ノ如シ下へ落タマリニ又
上へ生スルモアリ江州ノ佐田邨ト云所ニ佐田凡穴
ト云テ洞穴アリ此処ニ鍾乳多シ甚大ニメ取難シ此
ノ集解ニ云テアル通り石ノ本根ヲ殷孽ト云正
中ノ所ヲ花公孽ト云末ヲ石鍾乳ト云三條ニ別
ルニ色ハ白ヲ上トス又薄黄色ニメ透通ヲ上トストカ
ク透通ヲヨシトス和産所ニアリ茶店ニ唐モアリ
医家入門茶性要畧ニ鶯管石ト本條ト別ツテアリ
別物ト別ツカヨシ紀州和州石州江州奥州豫州讚
州勢州濃州皆アリ本條一名公孔事物石乳證治準繩

滴乳石外科正宗

孔公孽子 是ハツラ、石ノ正中ヲ云クナリテ中ニ穴

通リテアル故名ク一名ナシ集解時珍ノ説ヨシ

殷孽 是ハ鍾乳ノ根ノ嵩ニ付テアル処ヲ云一名ナシ

附録 石牀 是ハ鍾乳ノ流レ下テ下ニタマリ又下ヨリ

上へ生スルヲ云一名砂石牀茶性奇方 石苞 是ハ鍾乳ノ

滴下メ石ノ上ニ散メ木ノ枝ノヤウニナリタルヲ云ノ霜

雪ト云ハ白キニ譬テ云ノ宗夔ノ説石苞ハミトリ石ト

云テ紀州但州ニ有アリ是ハ木一ツメ枝多シ多多出

来テ大ナルハハ一尺程ニナリテイホ多アリ白色ノ松

ノミトリ石ト云状似タルニヨリ名ソク又イホニ菊ノ目ノ
ナルハ石梅ト云之 石柏ハ海中ニ生メヒハノ形ノ如シ
色白シ和名ノ石老ハシホキト云テ塩土ノカタマリテ石ノ
ヤウニナリタルヲ云。石骨今土殷孽ト云モノ能似タル
モノ之然レ氏適中ノ説ハナシ
土殷孽 キツ子ノミツクヲクダイシキツ子ノウウク越中キツ子ノクウ 唐ヨクウ 渡ラス皆和産
也土ノカタマリテ赤キハ播州辺ニアル上品黄白色時
珍ノ説ノ通之異名ナシ

石腦 未詳滑石ノ中ニアルモノソフナト云一一名ナシ
石髓 是ハ和名ナシ先年下野國安藝郡ニ石ヲ割

タレハ水出其水又凝テ石トナリ白色ハ越前大野
郡ノ深山ノ菅川石油流ル其油ノ毛汁物ニ付テ
皆石ニナルト云是スナハチ石髓ハ江州ノ人ノ所持メ
居ハ其石褐色ハ越前ノ石髓先年京へ来レリ
集解老吏面云 是ハ讚州河野郡川東邨ニ石壁
アリ其所ニ乳ノヤウナルモノ出ラレテヤケトニ付ル妙之
是ヲ石ノ乳ト云是カ地脂ニ当ルトク一名ナシ
石腦油 クソウヅノアアラ 是水ノ油ハ越後如法 蒲原郡
奪邨ニアリ又塩菅邨黒川邨ニ沢山ニアレナリ流水
ノ上ニ油浮テアルヲクマテト云中ニテスクウテ取クワ

ラニテモ取ルツホカ十四アルト之信州水戸郡茶山讚州香川

郡安原邸ニモアリ越後少油ヲ取ヨセテマルニ醬油

ノ如シ香氣硫黄ノニホヒアリ竹筒へ入置ハヌケル

故ニ燒物ニ入置之是ガクウツノ油ニ此油煙ニテ墨

ヲ作ル甚ヨシ南都言梅園ニアルニ別ニ亀ノ小便ヲ

石腦油ト云同名之奉條一名石液本中街石燭正字

。附地澁田ツブチシブカナケ。カナヤケミツサヒ藝洲ケス雲州クウスノツリ肥前是ハ赤土ノ

川ニ沢山之又吉田邊ノ田ノ中ニアルク黄赤色ノ光

リアリテ鉄漿ノ如シ一名鏽水物理小識

石炭 イシズ前カラスイシ イウキ長七ヘイシイニ伊ウ

ウシ江州 アブライシ橋州

ニ同 是ハ土中ヨリ掘出スニ炭ノ形ノ如シ伊賀ノ方

テ掘出タルラ七種ニ別ツキウニタチウニ石ウニ

土ウニヤタウニチシウニ此ノ土ウニニ種アリ江

州ニ沢山クヤスノ观音寺ト栗本邸ニモアリ形状

少シ異之是ヲツクモト云ク全体カラス石筑前長門

ヨリ出ル上品ノ目ガツマリテ堅シスレバウルシスリノ如

シ又江州鎌掛邸ニアルハ褐色ヲ帯ル之是ヲ炭ノ代

リ菜ニスル之土炭ヲ津輕ニテサルト云ク一名水化

炭大明一楂燕間石煤本中圓挽活法引考異言

曰福中山有土炭音昔似炭土形食之使人声哑

因其炭字與炭字相似以炭作炭誤矣食炭則不成
成唾又見焦氏筆乘

石灰

イシバイ レイリンテキカルモ 江州伊吹山

燒ハ京邊ノ原ニアル青黒石之江戶ニ燒ハ白色之近
年鞍馬ニ燒ク白青色之燒ヤウハ天工開物ニ詳ク
書ヲ上品トス青白コレニ次ク武州ハ玉寺ニ燒白色
也ハナコト云上品之水化風化ノニ種アリ風化上品
之急ニ粉ニスルハ水ヲカケル之風化ト云ハ三十日程ニ
テ自然ニ粉ニナル之菜用ニスルハ巷コ良之コマカニシテ色
白キ上品ノ用ヘシ人ノカキカラテ燒テ石灰ト混ス是
人字越

ハ蛤粉テ功ニ別チアリ石灰ト云ハ石ノ燒タルヲ用

ヘキ一名堊石 事物 異名 白灰 石 菜 亦雅 漆灰 同 散灰 同 礦

灰 天工 開物 上品之憲滓灰 同 下品之

石麩 土中ヨリ出ワウドンノ粉ノ如ク塊タル者之近年

肥後國益城郡ヨリ出山年ニ民コレヲ食京ヘモ来

ル味淡シ能州ヨリモ出ス外赤色ヲ帶テ堅シ雲州

ニ出ルハ上品ナシ丹良田ヨリ出ルモノ上品

浮石

カルイシ 海南石 和方 各 海中ニ浮フ泡ノ化シタ

ル之伊豫薩戸諸國ニアリ葉皮杯ノヨゴレヲ洗フ一種

褐色ニ蜂ノ窠ノ如クナル越中ニ出ツ泡ノ化石ト云

又海上ニウミウタト云アリ薄キ茶色ニメ糸瓜ノ如シ
物ヲ洗ニ用フスホンヌ紅毛柔弱ナル者ノ浮石ノ種類
ノ漢名未タ知レス本中原始ニ玲瓏硝ト云アリ今ノ
菊名石ナルヘシ新考ノ本條一名海浮石本中羊肚
石廣東
○附 暈石 未詳江戸ニテ雲石ニ小ヨル説アリ是ハ海底
ニアリ諸國ニ出ツ此ニ当ル可ク
石芝 クサヒライシ クサヒライノ形ニナリテ海底ニアリ沢山
ニアル石ノ竜宮ノサイハイタケ 海中ニ生ス紀州ノ田巴
薩薩ヨリ来ル最上品ノ諸國共ニ生メ松葉ノ如シ

莖枝ノアルハ甚稀ク又笠ノ外ニイホノ出来ルアリ
コフタケ石ト云スベテクサヒライ石ハ笠ノ外切レアリ表
裡異ニコフタケ石ハ切レナシ又蓮ノ葉ノ如クナルアリ
三寸程ニモ成一尺四五寸ナルモアリ形状數品アリ
中山傳信録ニ詳ク有根有葉大者如盆小者如蓋其
他如菊如菊如荷葉者不可勝數ト云々又云石芝ノ
中ニ和名石牡丹ト云テ千葉ニメ一尺程ニ成アリ
一名石耳本條亦曰石耳同名也 集解無心中
微含モコノ名アリ
凡芝ノ類ハ仙菜ニナル者ト見フルノ故ニ本條ニモ

仙菜ノ一ヲ云

石之四 石類下四才種

陽起石通名キラノ根ト云説アリアシ、雲母ノアル所ニ

陽起石ナシヘイトロイシ紅毛舶来ノ物ハ登ニ筋アリ

夕立雨ノ如クナト、ナソラヘ又鷺鷥毛ナト云説アリ

芭ノ立タルヲ云之雲頭雨脚雲頭ハ佛頭ノ如ク云江

州ノ石部ニ陽起石ヲ出ス其外諸石アリ陽起石

ニ多ク石膏ヲ以テ偽ル、五雜俎山東有陽起石煨

為叛着紙上、日中曝熱便能飞起也、盖此石为陽

精、相感之理固宜再也、磨水透紙見日則飞、故謂

陽起石又華夷珍玩考ニ出本條一名五精金西陽雜俎

五色芙蓉石菜五精陰華同

葱石ジニアク和漢通名 ハリモイロシ 舶来上品ノ上品ハ大

ナル釘又木ヲ吸ハサミ杯ヲハナニホトモ吸アクル石

小ニモモ勢ノ劣ラサルヨシ近年箇前ノ野ノ口ト云所

ニ出上品ノ濃州郡上中品ノ備後野呂山ニ出ハ下

品ノ奥州仙臺南部等ニアル之皆大抵ヨシ甲斐ノ

國金峯山ニ出ル中品ノ続日本記和銅六年ニ近江

ヨリ葱石ヲ獻スルヲアリ葱石ハ黒色ニメ赤ヲ帯処、

ニサテアリ石ノ内ニ鉄砂ヲ含テ居ル自然ノ鉄ノ頭尾

アリ頭ハ強ク針ヲ吸尾ノ方ハ劣ルク針ノ本ノ方ヲ
 慈石ノ頭ニテスリ針ノ末ヲ方ヲ尾ヲリ水ニ漬ル
 ト針ノ本カ南ニナリ末ハ北ニナル其針ヲ又慈石ト
 アツルト末ハ尾ノ方ニツキ本ハ頭ヘ付ク末ノ方ヘ慈
 石ノ頭ヲフルトニゲテ付カナルク慈石ヲ蓄ルニハ鉄砂
 ヲ入レテタクヤヘテヨシ一名扣南石郷茶本中引鍼石茶性奇方吸
 鉄石本中扱鍼石閩通志陵石通雅兼石日磁石物
異名緑伏石西陽雜俎
 玄石 是ハ慈石ノ一種ニ和名ナシ形同シ針ヲ吸サル
 之是ハ慈石出ル山ニ皆此石アリ集解ニハ出取別ノヤウニ

云テアレハ慈石ノ下品

代赭石 通名和産ナシ古渡新渡ノ別子アリ古渡ハ
 色赤黒一二寸程ニ塊リテアリ新渡ハ一尺程ノ塊
 アリ赤黒ニメ白キ光アリ割ルト片ル冊書イボノヤウニ
 成テアリ茶店ニテマム出ト云イボ出ル云ニ新渡上品
 古渡ハ下品ニ集解ニ云浮汜町ト云方ニ浮汜ハヒヤ
 ノクニ近年美濃ノ赤坂邊ニ出ルト一名は赭石工天
関紫朱附日善石茶大赭石百一朱石郷茶本中
附赤石 未詳上ハイヤ州マモナイニ勢州
 禹余糧イシナタンコ讚州船来アリ一二寸ノ大寸ノ皮ハ一分

ホトノ厚サ是ヲ割テ糊ノヤウニ絶重モヘタテアリテ
黄白色ノ粉カ盈テアリヘクテナキモアリ是モ黄白色
ノ粉アリ和産ハ大和能登和泉甲斐ニ出ツ江戸白
銀^銀基細川家ノ下屋鋪ニアルトク一名ナシ
大一禹余糧 イヤツホ ツホイシ ヨロイ石 波^向ラテツゲテ
アロイン タルイシ スイシ
是モ船来アリ和産泉州紀州讃州和州泉湧寺ニ
モアリ其内大和ノ井駒山ニ大小甚多ニ形ハ品ハ
ナル石ノ外ニ小石ヲ多ク付テ居ルハ皮堅ク割レ
ハ鉄色ノ光リアリ皮ノ内外ハ栗色ニ粉カ盈テアリ
色ハ黒褐色ノ皮ノ厚四五方程アルハ大サ品アル

也一名祈閣石 雲林 天師食 石茶 山中盈脂 同

石中黄子 冠宗 夔日子 當作水 是ハ黄水ノ一テ禹余糧ノ未タ熟セサル

前ノ水ノヤウナル者ハ石中黄ト云ヘハヤニ石ノアルハ
外皮黄白色中ノ石ハ黄褐色ノ外皮柔ニメ内堅ニ
南都ニテアカスリ石ト云浮石ノヤウニ用ル之別物ニ茶
用ニテラス石中黄子ハ禹余糧ノ中ノ水ヲ云禹余糧ノ
水ノ時珍ノ説詳ニ一名ナシ

空青 コシセウ 又クシセウ 自ノ訓皆非ク是ハコシセウノ

種類ニノ又形ノ異ナル者ニルリ色ニメ緑青ヲル之
是ハ稀ナル者ニ圓ニメ内ニ空虚アリテ水アリ目茶

本經逢原三引テ曰天下有空引テ曰天下有空
腹無漿者取全殼埋地三五夜自然生斗漿可食
睛人間無殼可磨醫云唐テモ真物ハ稀ク形ムク程アリ
筌目又本道家語
筌目又本道家語
眼睛ハ愁世上テ
無空青
也一名青要中女石茶青神羽同青要女西陽
曾青 是ハイヤコセウノ種類之九ク中ニ水アルハ空

青水ナキハ揚梅青九ク空ナクイクツモ相連テ生スル
曾青之秋田ヤトノ銅山ニアルク茶店ナドニハ知ラス
具屋ニテハコレセウト一ニメシマウク色緑色之一名撲
青石茶青竜血同

緑青 イヤロクセウノ振州ヨタ田羽州秋田阿仁ト云所
ニ出ル上品之其外出ハ下品之總体銅山ニハ緑青
コシセウ杯生スル之土中ニ塊リテ雷ニイボアリ此ノ蝦
蟻背芥子園画傳ト云上品之石ノ時ハ古クニアル良シ粉ニアルト薄
ナル故之蝦蟇背ハ倍ニ孔雀石ト云割レハ石膏ヲ割
々セウニ中ニハクメアリ是ヲ刷糸ト云紅毛ヨリ孔雀
石ト云者ヲ来ス蝦蟇背之一種色薄ク漢名鸚鵡
石ト云是ヲ和名筌石ト云筌音銅ニスル故ニ名ク
唐ニテモ筌ニ塗テ云テアリ雲林石譜云色淺緑不
甚空名鸚鵡石擊取以銅盤磨其色可嗜筌又口

クセウノ中々チノ悪キアリ常ノ石ニ砂ノヤウニ小ナル
カ吹出ル之是カ集解ニ云泥緑青之スロクセウト云
ル緑青ハナラロクセウト云テ銅ノサヒニ本條ト異ニ
一名畢石 石茶 尔雅

扁青 イヤコンセウ 絵具ノコニセウ之絵具屋ニテ上品
ヲ佛頭コニセウノ下品ヲ石コニセウト云古ハ金青トカキ
今ハ紺青ト目之昔上野ヨリ献ス今ハ根州多田
羽州秋田阿仁ヨリ出ツ上品之舶来アリ是モ上品
也トカク色厚フ上トス粉ニスルトウスクナル故随方ク

ロミノアルヲ上品トス金青ハ紅毛ヨリ来ル下品之
甚下直之雜画具ニ用ストクト知レサルモノ其原氏
ノ説ニハヒイトロヲ粉ニスルト之本條一名ナリ

白青 グンセウ 金青ノ色ノ淺キナル之唐ニハ別ツニ
一種アル者之金青ノ色薄ヲ用ニテハナシ舶来見明
之和産 金青ノ色ウスキヲ充ツ下品之今ハ舶来甚
稀之一名目青 通 雅 奥目青ノ畧之

石膽 膽蓉也和漢通名和ノ方目ノカクシ各ニ青石
子ト云フ ヒツテリヨウコン 紅毛 今ハ唐ヨリ来ル和産

モアリルリ色ニテ見フナ石英ノ形ニメ絶市ニモカサテ

ソリテアリ皆角アリ長サ一寸ホトツアリ又小ナルモア

リ植木ノ鉢ナトニマキテカサリニスル見フニ久シクス

ルト白ケル故集解ニ見風別色変スト云和産秋田

下野能登茶店ニ一通アリ色鮮ニメ石英ノヤウニ

透通ルアリ是ハ者膽砒ト云是ハ偽物熟煎ナリニ集解ニモ此

白コアリウルニテ透通ラサルカヨシ透通ルハ火ニ焼汁出生葉ヲ

也透通ラサルハ火ニ焼汁出テ又時珍ノ説ニモ此事ア

リ近年唐ヨリ来ルフサニ茶店ニ稀々本條一名翠

膽砒本中石液石葉擅揺持同

礬石 毒石也故ニ賣ヲ禁ス唐ヨリモ稀ニ渡レ鬼角

礬石ト礬石ト別チ難シ砒石ヲ前カラシ下訓

ス只今胤コロシト云物越後出雲ナドニアリ薄黒キ

色ノ石之此ヲ粉ニメ胤ニ食セシムレハ死ス真ノ砒石

ハ和産トクト知レヌ一名礬石茶性定風石同白布一

石石葉亦雅白竜同秋石同名立志石大生

特半礬石 是モトクト知レヌ先師杯ハ丹後宮津ト云

家ニハヌケ砂利ト云石アリ毒石之形人ノ齒ニ似タリ

色ハ風色少シ黄赤色ヲ帶モアリ石ハニゴリテ白川

石ノヤウナキタナキ石之是ハ妙房ノ方ニモアリ富屋舍利

ト云テ停石ニナリテアリ毒石故ニ此等ノ石ニ當ツ形
状トクト當ラヌ莫ノ岩石ハ石ニ付テ色白ニ特生岩
石ハ石ニ付ヌ色青黒ニ集解弘景ノ説ニ内白如
霜中央有白状形如齒ト云テアリ此ノ通ノ形状
未タ見アタラス但馬ノ山ニハハノ石ト云沢山ニアリ
石丸ク肌土ノ塊リノ如クノ黄色白色マニリ是ヲ割
ハ内雲ニメ泉晶ノ如キマカキモノヒツシト付テ齒ソ
ヤウニ成テアリ正中心ハ空ニ是ヲ管玩物ニスルニ去
毒ニアタレルヲ聞カス此石ニ毒アレハ能ク岩石ニ當レ
ル物ニ温泉ノアル所故尚當ル一名ナシ

握雪礬石

是毒ナキ物ニ時珍ノ説ニ握雪礬石ト
云テアル説ヨシ毒ナケレハ岩テナキ分ニ和産ナシ一

名ナシ

砒石

正字通ニ砒石同ト云

倍ニ砒霜石ト云アヤマル生ヲ砒石ト云ヒ燒カ
ヘシタルヲ霜ト云和漢凡ニ賣ヲ禁ス唐テハ土中ヨリ

取信州ニ沢山アリ故ニ信石人言杯ト云土ニモアラ
ス石ニモアラヌ間ノモノニ逢原ニ色白有黄暈者也
金脚砒ト云此上品ノ本中ニハ赤ヲ上トス逢原ト異
也ソツヒツマアト紅此ノ砒石ヲ燒カヘメ砒霜ニスル
集解ノ宗爽ノ説ニ詳々又工開物ニモ云テアリ燒

ト毒ヲケテ強クナル之外科ニ用フルニ一度焼カヘスモア
リ七度焼カヘスモアリ焼カヘス程毒強クナル之和産ハ
知リス砒石ト云ニ一種銅ノ気テ生スルアリ鉛銀ヲ
ノ気テ生スルアリ銅ノ荒石ヲ取テ焼テ銅ヲ取
カマドノ上ニコモラヌヲ置ト焼火成ニメコモハ管灰
ニ成ソノ灰ノウチニ色赤キアリソレカ後ニ黄色ニ変
ス是カ砒石ノ主母アリテ本條ト同シト長門ヨリ
出ス肌ノラツクシキ石之是ラ唐テ紅砒ト云色ハ赤
黄黒鼠色ノ數種アリ大方今砒石ト云ハ是ノ真ノ
土中ヨリ自然ニ生スルハ稀ニ偽真ヲ別ツハ火ニモヤ

メ紫色ノ烟出テ葱ノ臭気アル是カ真ノ砒石ノ一
名黄竜華石紫
尔雅赤帝華精同
土黄 是ハコレラヘモノ之修治ニ委ク云テアリ此方テハ
セヌー

州字下
原本關

金星石 附 銀星石 共ニ和産アルモノ之和州
ノ石ニコマカキ金星アリ銀星ノモノ即銀星石之割
ハトコマテモ一メンニ金銀星アル之唐ヨリ善礬石中
ニ入テ善礬石ニ偽ル本中原始作金精銀精石此ノ集解
ノ終ニハ疑テアル之別ニ一名ナシ
附 録 金石 本條ノ類ニテ銀星アル之和産和州邊ニ

アリ一名ナシ

婆娑石

未詳

和産船来具テシ解毒ノモノナリ

礞石

青礞石
通名

和産ナシ唐ヨリ来ル茶店唐ハカリアリ品

渡ルマヅ黒緑色銀星ノアルガ上品ニ焼ト銀星皆

金星ニ成又白ニアリテ初ヨリ金星ノモアリ又青色

ニメ星ナキアリ此等皆偽物ノ初メ銀星ノ者ヨシ一種

金礞石ト云アリ金ク金色ニメ柔ニ紙ノヤウナ者ニコ

トレハ全ク偽物ノ礞石ト別ニソレヲ火ニカケルトカサ

高クフエル是ハ母ノ類ニメ且ツ和産ノ和名金雲

母ト云銀色ノ物ノモアリ本條ノ和産近年大和

下牧邨ニ出ツ本條一名青金削

医宗
粹言

苍乳石

アウモチイレ

舶来アリ新渡アシ、女渡ヨシ

黄色ナルヲ良トス硫黄ノ塊リタルヤウニ新渡ニハ白

ミヲ帯薄黄色ニ白キ所マシル下品ニ白キ所ニ息

ヲ吹カケルト又レテアル間ハ黄色ニ和産異名ナシ

白羊石

未詳集解黒羊石是モ未詳事物紺珠ニ

作石羊黒石羊

金牙石

カナサコ三州

和漢通名和名ニ方金牙ト云白ヲ方銀牙

ト云金銀二色アリ唐ヨリモ来ル四角ニ小クカタマ

リ双六ノサイノゴトニ金ノ如ク重ニ和産モ重ニ佐

渡信濃ニアリ白ハ但馬三河大和ニアリ形スント大ク
ナリタルモアリ一名白布脱齒西陽雜俎

金剛石 コニコウシヤウニスルハ愚シ、金剛砂ハ石ヲ切ニ

用ル砂之本條ハ蕃人ノ持チ来ルモノ也 和産ナシ蛮人

名ヲキヤウンデテヤマニ居云シ是ハ水晶ノヤラナ物ニ

テ鉄ヤ玉ヲ切シ蛮人皆指環ニ付テカサリニスル水

晶ノヤラニテ能クモノ、ウツルモノ也 偽物アリビイドロニテ

偽ル五色ノモノアリ本條一名金剛砂典籍トサラ便覽跋折羅

翻釈名今ノ金剛砂ハ玉ノ部ノ付録合玉砂アリテ本條

砒石 イシハリ石 昔ハ石ニテ針ヲ作ル今ハ傳ハラス今

柄字ニアリ

ニテモ石ヲ細ク長クシテ柄ノハ五六分ホトセクメ
長サ二三寸程ノ柄ヲ付テ積気杯ヲ按スル之砒石
ノ類ニ一名ナシ

附録 石弩 ヤノ子イシカミノヤ子 石ニテツクル矢ノ

根是ハ東國北國上品ノ佐渡出羽奥州別テ上

品ノ色ニ赤黒黄數色アリ形モ呂、アリ此三國ニ

生スルハ皆透通ル美濃ノ赤坂ノ雲空藏山ニ沢

山アリ然モ下品ノ皆自然ニ矢ノ根ニナリテアリ神

軍ト云テ劇キ天气アリ其翌日拾ヒニクト多クアル

トノ形ハノミカマヤリナキカブラヤ柔ノ柄ツ

キタルモアルトシ一名弩石 廣興記 雲林石 齋

隨水老石 大頭流

越砥石 此條釈名多混メ本條ハカミソリドアセド

是ハ山ヲ掘トルニ京ハナルタキト云処上品又上野

戸沢ヨリ出ル上品ニ丹波江州ニモ出釈名ノ砥石

ハアラトニ肥前天中ヨリ出ル上品ニモクメ石ト云ノ

木理ノヤウニ致アリ豫州ヨリモ出又羊肝石ハ又別

ニ一種ナルモノニツシマト云対馬ノ虫クモト云テ上品

ノアカセド又京嵯峨臨川寺砥ト云テ此寺ノ邊ニ

アリ羊肝石ニ至極キメコマカニメ漆ノスリ出シニ用ル

也又磨力石ハ砥石ノ總名ニ正字通ニ磨石斗ト

云ニ砥石一名砥正字通此外品ノ種類アリ今アヲ

ト云ハ漢名玄砥 山海經

筭石 セウガイシ 海濱ニアル者筭ノ形ニナリテアル

也讚州屏風ガ浦相州越後能州ニアリヒラタクミテ

枝アリテ生筭ノ形ニナリテアリ黄色モ赤色モアリ白

色ヲ上品トス乾筭石ト云即白薑石ナリ形亦文メ長竿ノヤウニ

長クナリテアリ一名礪砥

麥飯石 飯遵生棧ニ作ル同字 且ハ麥飯ヲカタノタルヤウニ鬼角柔ナルヲ

上品トスルニ白石ニメ其中ニ麥程ノ砂狭マリテアリ

薄黒キ砂之是モ柔ナル者ト云トス白変飯石ト云ニ

ヨリテ白色ヲ上品トスル一名ナシ

水中白石 メククライシマククラスイシウメツフシニミズイシヒイロイシ 昔川ニアル白キ小石メクラ石メクラ水晶石

云白ノ少シ透通ルヤウトクトハスカス故ニメクラ水晶

ト云一名水中石子 郷茶樂焼ノ白クニ又ハ硝子ニ用ユ

河砂 カハズナ 河原ノ砂ハ河原ノ白キ砂ヲ云附方ニ白砂

トアリ

杓上砂 米ヲ洗キ杓ノ中へ入タル砂ハ唐ニテ米ヲ洗

ニ杓ヲ用ルハ其中へ入ル砂ハ

石燕 シバメイシ 茶店ニアリ舶来ニ茶色ニメ大廿五

方形ハアカ貝ノヤウナル物ニテ全体褐色ニツニツ

ツニ付タルモアリ一ツツ離レタルモアリ横ハ廣ハ雌

也細長キハ雄ニ雌雄ノ説時珍ノ説アチラフチ原

始ニ回アリ景言ニモ圓大者为雌長小者为雄ト

下リ近年尾州宮ノ海濱ニ出ツ茶店へハ出ス一名

鎖天娥 種杏 仙方 陰モ凶者 本ヤ

石蟹 カニイシ 蟹ノ石ニ変ミタルハ唐ヨリ来ルハ一

寸長サニ尺薄黒色ハ是ヲケツルト中ニ蟹アリ蟹ヲ土

ニツミタルカ土氏ニ石ニナリタルハ備前日向若狭能

登ナトニアリ其外ニモアリ又美濃ノ日間島ト

云所ニアリ是ニハ石ニ黒ミアリ碎ケハ中ニ蟹アリ全
ハナシ皆ツブレテアリ是モ大ナルハ一尺程アリ此集解
ニ云石蝦ハ蝦ノ石ニナリ丸ク日向山アリ有石奥ハ香奥
化石ニテ日向ニモ壹岐ノ勝本ニモ伊豫ノ茗
荷ケ嶽モアリ本條一名乳石本中
石蛇ハマカツラ紀州ジヤガヒ泉州描ノフ泉州石ニアラス貝ノ
海濱ニ多ク石ニ付モアリ貝ニツクモアリ又離テアルモ
アリズノヤウニ成卷テアル中空雲ノ大小アリ大
ナルハ径ニハカホドアリ其色ヲ帯ルモヤリ多白色
播州播州邊ノ蛸壺ニ多ク一名ナシ

石蠶 是ハ海濱ニ沢山ニミドリ石ト云塩土ノ塊
ルノ菓子ニ松ノミドリト云アリ白ク長シ其形ニ似
タル故各々又虫部ノ石蠶ハ川ニアル大黒石ト云セ
ノニ同名異物又菜部ニ同名アリ
石鼈 スワホシノ形ニ似タル石ニ海濱ニアル者和産モ
有リウナルモノ未タ見出クサス
蛇黄 倍ニ蛇合ト云唐ヨリ来ル物ニ七八分程アリ
リテ丸シムカユノヤウナ物ニ色褐色ニメ黒ニアリ外
ニイボアリテ重シ割ハ中スクヤウナ形状光アリ時珍
ノ説蛇黄含石ノ別テ凡ツ々シ、稟言ニハ一ツ

メアリ可

霹靂礎 キツ子ノマサカリ テニクノマサカリ 東國北

國ニ多アリ 越後津輕ニ次山ノ山ニ生スルモノト見

ニ大雨ノ後山ヨリ出大雨コトニ出ルニ長廿五寸

ホトニテ色黒モエキ黄胤ナトモアリ 甚堅ニ金銀ヲ

コ、ロミル付ケ石ノ如シ形ハマサカリノ如ク 兎ニカ力付

テアリ穴ハナシノミヤウナルモノノ甚堅メ人ノ細工ニ

ハナラヌモノヤウノ一名雷公石 朔令

雷墨 未詳 カミナリ落タル點ニアルト之思 雷公石

説混スルナラシ一各ナシ

石之五 鹵石類二十種

食鹽 シホソウトテサル 各塩ハ海水ヲ汲テ俵ルモノ

也汲ヤウヨリテ取ヤウ 逢之海水ヲ汲テ砂ノ上ニ

兎度モチチ久ク日ニ晒ス片ハ塩霜ノ如ク白クナル

是ヲアツメテ竹ノスノコノ上ニ置テ復塩水ヲ汲カ

ルニ其後塩釜ニ入テ焼ク 播州赤穂塩各物ナリ豫

州モ仕ヤウ同ト之勢州ノ津テ作ルハ廣砂ヲ平

ニシ海涯ヲ堤ニメ各人ニ区別ヲメ砂ヲナラメ置ク

毎日霜ノ如ク吹ク是ヲコシテ 塩ニヤクニ漢名鹽

塩ト云之 播州テ出来 海塩ト云上品ニ勢州ハ

下品之又奥州会津伊弉郡月輪莊ニ大塩ノ郷

ト云町辺ニ井アリ塩ヲ生ス且ヲ汲テ焼ク人家七

八十モアリニ十塩戸ノ西行ノ歌ニ海士モナクウニナ

ラスレテ陸奥ノ山カツノヤク大塩ノ郷日本ニハマツ此

三通ノ大塩ノ郷ノ八塩穴ヨリ生スルヲ汲テ本條

一名食將事各異海粉浮石海粉ニ此名アリ又海粉類ニ海粉アリ皆同名砂老同答不速蒙古名底賤

戎鹽錦中唐ヨリ和産ナシ蕃人ノ持来食用ニスル物ナリ

茶店ナリケシクスアモソウト紅毛ニ種アリ冰糖ノ

如ニメ四角ニ辛甘ノ味アリ青黒色ト薄赤ト二品

唐ヨリ和産ナシ
如此ナラシカ

アリ集解ニモ云通りノ一名小皇青事物異名滄骨種杏仙方

先登本ヤ例行神骨西陽雜俎

河内ノ錦郡西條河ニ珍石アリ此石ニ水ヲカケテ

乾ケハ即干塩トナル近鹹石

光明塩ハルシヤシホ蕃人持来リ食用ニ形四角

ニメ水晶ノ如シ凡テ石ニ生スルノ是カ戎塩ノ類

其中ニテ透通ラ光明塩ト云此品類ニヲラシク塩ト

云アリ蕃人持来ルハニ寸程ニアミ笠ノ如ニ四方ハ

筋立テアルノ屋根ヲイクツ重タルヤウナモノニヤク色

ニウルミアリナムレハ甘メ鹹ニ集解吳録ノ説ノ石塩

ニ近シ和産モアリ讚州ニテシ又ウ塩自然塩ト云是
六タレ塩ノ中ニアリ焼スノ凝モアリ塩坪ニ凝生スル
モノ波斯國ノ物モ同類ニ見ユ。

鹵鹹

シホノカタマリ 焼タ塩ヲ多ク積タ下ノ土中

ニ生ズルニ白ク塊リサクツク物ノ割レハ塩ノ如ク粉

ニ成味鹹メ天雨ニ解ル者ニ一名青牛落石菜

集鮮石鹹 シヤホント云テ格別ノ物ニメ蓄人持来尔雅

リ服杯ヲ洗ニ用フ是ハウトンノコニアクヲ雜セテコ子

タル物ナルヘシ 鹵水ニガリ

凝水石 塩ノニカリノ中ノ塊リノ前ノ鹵鹹ト生ス

ル所同シ氷砂糖ノ如ク同激ク水晶ノ如シ塩屋

ニ多シ夏ノ炎天ニモ解サルモノハ水中ニ入レハ即チ

トケルニ茶店ニ誤テ寒水石ト云ニ方解石ヲ使フ

之唐テハ寒水石ト云ハ凝水石ノ下ニ正誤ニ詳ニ一

各氷石石菜 尔雅

玄精石 和産ナシ船来アリハ一ニハ長サニ三分

ホトノ薄ク青白色ニニツト文字ニ成タル形アリ余

ク亀甲ノ如キハ稀也サシ六角ニニスルハアルモノ

一船来ノ物モ真物ニアラス 各泥精事 物 名 鬼 精 本 抄

玄明竜骨石 菜 永 同 名 尔 雅

緑塩

詳ナラズ

和産ナシ蜜人ノ持来ル紅毛ノ絵具ニ用ル

スハンスクロウニト云ウスモハキノ粉ニ奈良緑青云テ

絵具ニ用ルモノアリ是ヨリ色浅シ味淡酸シ

塩菜

蛮人持来ルモノニサクシイリウト云 和産

アリ山ノ金ヲ掘タル跡ニ生スルニ白粉ヲ吹ノ霜

ノ如シ其中ニ自然ト形ヲナス朴硝ノ架石アリ

又生メアル所ノ霜ノ如キ土ヲ取煎スレハ皆砒硝

ノ如クカマルニ和名ナシ近年上流ノ山部郡大豆谷村アリト云

主治ノ独自少草烏頭ニ

附懸石

未詳保昇ノ説明ナリ

朴消

和名ナシ製シタル形ヨリテ朴消馬牙消ノ名

アリ初メ土ニ混メ生スルニ是ヲ土庄ニ日本一渡又

茶店ニ灰出ノ朴消ト云是ヲ製シ水ニヒス製スルハ

冬ヨシ朴消ヲ製スルハ下ニ罫ヲ置キ上ニイカキノ

如キモノヲ置テ其中ニ入上カラ湯ヲカケレハ土ハイガ

キニ残り朴消ハ下ノ罫ニシタリ下ル是ヲ便チ土

罫ニ入煎スルニ大根ヲ入テ煎シ如減ヲ見ニ煎テ

熟メ清シ別ノ土罫ニ入一夜置ハ塊マルニ上ア

ルハ針ノ如キ形或馬牙ノ如クナル故ニ小ナルヲ芭

消疎ナルヲ馬牙消ト云今茶店ニ賣ハ悞テ朴

消ニ代テウル之下ニ塊タル益消ト云是ヲ取リ

風ニアツレハ粉ニ成之是ヲ風化消ト云一名大清

尊者事物名大青尊者藥譜海末石茶單丹目飛風

道者輕耕録馬

玄明粉 磁消或ハ馬牙消テ作ル之再ヒ甘中ヲ入

テ煎メ後燒反シタルモノ

消石シロエセウ消之和漢通名火水ノ二種アリ芭

硝ハ水消之本條ハ火消之水消ヲ一名塩消ト云

也本條ハ燭消之コレハ燥タル旧キ家人録ノ下ニ

アル之エカ霜ハシラヤウニ成テアルモノ又四角ニ

成テモアル之此ヲ土石ニ取テ湯ヲカケテ下ニ泄テ湯

ニ付テ下ル土ハ残ル之下ノ湯ヲ蘿蔔ヲ入テ煎スル

也リノ蘿蔔カ煮ヘ熟シテ一夜置之前條ト製スシ

ヤウ同ト之形子針ノ如キ大ナルヲ馬牙ト云細ヲ

芭消ト云之舶来上品和産諸國ヨリ出ル皆上品

也本條ヲ茶店ニ白焰消ト云燈家抄作相ノ炭ト硫黄ト

ヲ合スルヲ漢名火茶具ニ対メ白ト云之和ノ方局

ニハ塩石トアリサレハイトル江本條一名化金石石

雅河東野同

硝砂 茶店モウ砂ト云稀ナルモノ之和産ナシ蛮人紅

毛持来ル、サルアルモニヤトカ、サルアルモニヤトシ、水
砂糖ノ下品ノヤウナルモノ、自然生之、又造ル法ア
リ、江毛人製法ヲ傳ヘス能ク物ヲクサラカスルモノ、
唐ノ礪砂ハ原始ニ、戎礪塊小色白倍呼番礪、又
有年色青色、紅色、黄色、倍呼氣礪、次之塊大色黧底
黒者倍呼塩礪、最下本條一名無情手事物異名神砂物理少識
戎塩菜性天要畧全戎烏同礪砂事物異名濃砂石菜雅白海精同
玃砂同金賊同
蓬砂ホウシヤ和産ナシ、皆舶来ニ、漢名ニテホウシヤト云、ホシ
ト、ツラホウラアリス毛紅時珍ノ説ニ、黄、白ノ二種アリ

原始ニハ青、白、黄ノ三種アリ、黄色ハ少シト云テアリ
今渡ハ大方青、白ノ二種ニ、其青色ナル脂ノアルラ
脂蓬砂ト云、下品ニ即原始ニ云、青蓬之此アブラ蓬
砂ハツギモノニスルニ用ル、スキホウ砂ト云、白キアリコ
レ、茶用ニスル、此ハ弱クメツキ物ニ用ル、ハアシ、本條
一名早水晶録較耕
附録特蓬殺 是正字通ニ拾遺ニ言、有特蓬殺、出加
州山中似礪砂、即為大礪砂、声俗誤呼為特蓬殺也訛耳、然ハ本
條下同物ニ別ニ異名ナシ
石硫黄タカノメイロウイアウ、ソルフルニスルヘシ毛紅和産、沢山ニ

唐へモ注ク上品ヲウノメタカノメト云へウノメハ赤
ミヲ帯ル之久カノメハ黄色ハカリ之下品ヲヒグチト云色
昔ミツケ木ノ巻ニスルニ試ルニ桐ノ木ノ板ノ上ニ置
然シテ板ニ烟ノアトツカスヲ良トス名硫黄メカノメ
石硫青 ヒシチ 石硫赤 ウノメ 日本ニテハ諸國ニ生ス信
州奥州上佐伊豫伊豆越中越後甲斐唐ヨリモ来
ル上品ニ総侍温泉ノアル所皆アリ一各異黄西陽
留黄正字 黄砒日 焰黄輕耕鍊黄 山不住石茶 九異雅
黄童日 黄英日
石硫赤 ウノメイワフ 上品ニ黄色ニ赤ヲ帯ルニ正字

通船硫似蜜黄中有金光擊開如水晶有光ト
異名ナシ

石硫青 ヒグチノイワウ下品ニ青硫氏云正字通ニ出ツ

附録 硫黄香 未詳

礬石 ドウス ドウサ メヨウバン モト洞澈ナル上品

ヲ漢名明礬ト云日本ニテハ通メ云唐和氏ニ上品

箱根肥後讚岐若狭備前長門モ七彈鹵州ヨリ出

ス和ノ万石ニ明石ト云アルウメン紅 燒反シタルヲ

枯礬石ト云茶碗ノ中へ入示又茶碗ヲ蓋ニス燒燒

上ノ茶碗へツクニ是ヲ枯礬石ト云燒カケルヲ生天石ト云

本條一名黃石

石茶 黃老 同

綠礬

アロウハ
アロメウバン

唐音ロフバント云ノ轉シタル唐ヨリ來

ル上品和産アリ真綠色ヲコシテ赤ヲミゾテト

云損州多田下野播戸長門ヨリ出是ヲ燒ケハ赤

色ニナル曰岩紅朱座ニテ朱ニ雜ル之唐モ同丁

大坂^テヘニカラヲ燒ニ上品ト云カ岩紅ノ下品ノヘ

カラハ鉄粉

黃吞

キメウバン トスロウハ

箱

茶店ニタタ明吞ノ形

黃色ナル之異名ナシ家釜為雜屎吞者非也

湯瓶内鱈

湯ヲワカスドビンノ底ノ鱈カタマル是ヲ云

也

附錄 諸石皆未詳 石脾ノ□ヲ去ルヘシ

火茶 テツホウノクスリ 桐炭硫黃焰消ヲ合スルノ

銳ハテツホウノ丁ニ此製衣天工開物ニ安ク見ヘキ

金石部五類終

